

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年11月7日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社博展

コード番号 2173 URL <http://www.hakuten.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 正則

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 今森 教仁

TEL 03-6278-0010

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,670	△8.8	16	—	47	—	44	—
23年3月期第2四半期	1,831	14.7	△24	—	△29	—	△34	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	2,648.99	2,603.19
23年3月期第2四半期	△2,084.65	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,690	633	37.4
23年3月期	1,671	587	35.1

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 632百万円 23年3月期 587百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	1,500.00	1,500.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,790	0.1	108	107.2	133	217.5	125	444.5	7,388.58

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	16,918 株	23年3月期	16,908 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	— 株	23年3月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	16,915 株	23年3月期2Q	16,786 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の実績は、今後様々な要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。なお、上記業績予想のご利用にあたっては、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
3. 補足情報	8
生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興が本格化しつつある一方で、急激な円高の進行、欧米景気の減速、さらに雇用情勢の悪化懸念など、依然として先行きは不透明な状況で推移してまいりました。

当社コミュニケーションデザイン事業の主要領域であります展示会市場、イベント市場及び広告市場におきましては、東日本大震災の影響を色濃く残す、かつてない非常に厳しい経営環境で始まったものの、国内景気の回復に合わせて、ほぼ震災前の状態まで回復しつつあります。

当社は、展示会・イベントをはじめとして、ショールーム・ショップ、情報伝達ツールなど、企業とユーザーとのあらゆる顧客接点をデザインし、ブランド構築、知名度の向上、新規顧客獲得の機会増加、既存顧客の囲い込みの促進など、顧客のビジネスパフォーマンスを高めるサポートを展開してまいりました。

なかでも、展示会・イベントといった、人と人が直接出会う場において行われる宣伝・販売活動を「Face to Face マーケティング」と位置付け、展示会・イベントを開催・主催する企業への「主催サポート」、そこに出席する企業への「出展サポート」を特に注力して事業を展開しております。

第1四半期会計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)は東日本大震災の影響を大きく受け、売上高は大幅に減少(前年同四半期比32.7%減)したものの、第2四半期会計期間(自平成23年7月1日至平成23年9月30日)は従来からの当社の強みである出展サポート領域に加え、主催サポート領域においても出展支援システム等販売力強化に向けた取り組みの成果が出始めたこと等により、売上高は大幅に増加(前年同四半期比21.4%増)し、3期ぶりに第2四半期会計期間が黒字化いたしました。また、東日本大震災の影響による展示会・イベントの中止・延期に伴う一時的な市場縮小に対応するため、ワークシェアリングを実行し、雇用調整助成金の申請等により収支のバランスの維持にも努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は16億70百万円(前年同四半期比8.8%減)、営業利益は16百万円(前年同四半期は営業損失24百万円)、経常利益は47百万円(前年同四半期は経常損失29百万円)、四半期純利益は44百万円(前年同四半期は四半期純損失34百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

財政状態

当第2四半期会計期間末(平成23年9月30日)における財政状態は、資産合計16億90百万円(前事業年度末比1.2%増)、負債合計10億57百万円(前事業年度末比2.5%減)、純資産合計6億33百万円(前事業年度末比7.9%増)となりました。

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は13億94百万円(前事業年度末比48百万円増加)となりました。これは、現金及び預金(前事業年度末比37百万円減少)が減少したものの、売掛金(前事業年度末比79百万円増加)が増加したことが主な要因となっております。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は2億96百万円(前事業年度末比28百万円減少)となりました。これは、減価償却が新規取得を上回ったこと等により工具、器具及び備品(前事業年度末比8百万円減少)が減少したことや、回収等により敷金(前事業年度末比13百万円減少)が減少したことが主な要因となっております。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は6億20百万円(前事業年度末比9百万円増加)となりました。これは、未払消費税等(前事業年度末比10百万円減少)や賞与引当金(前事業年度末比10百万円減少)が減少したものの、買掛金(前事業年度末比29百万円増加)が増加したことが主な要因となっております。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は4億36百万円(前事業年度末比36百万円減少)となりました。これは、返済が新規借入を上回ったこと等により長期借入金(前事業年度末比34百万円減少)が減少したことが主な要因となっております。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は6億33百万円(前事業年度末比46百万円増加)となりました。これは、四半期純利益の計上により利益剰余金(前事業年度末比44百万円増加)が増加したことが主な要因となっております。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ37百万円減少し、当第2四半期会計期間末には、6億51百万円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は16百万円(前年同四半期は40百万円の獲得)となりました。

これは主に、売上債権の増加額45百万円、たな卸資産の増加額11百万円及び賞与引当金の減少額10百万円が、税引前四半期純利益47百万円を上回ったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は6百万円(前年同四半期は11百万円の使用)となりました。

これは主に、敷金及び保証金の回収による収入12百万円が、有形固定資産の取得による支出2百万円及び敷金及び保証金の差入による支出2百万円を上回ったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は27百万円(前年同四半期は31百万円の獲得)となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出1億56百万円が、長期借入れによる収入1億30百万円を上回ったこと等によるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

第2四半期累計期間における業績の進捗及び市場環境等を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成23年5月11日に公表した業績予想を修正しております。詳細は本日別途開示する「業績予想数値と実績値との差異および業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	688,896	651,213
受取手形	65,442	30,858
売掛金	524,819	604,703
仕掛品	29,161	41,425
原材料及び貯蔵品	1,675	1,244
その他	37,691	67,783
貸倒引当金	△1,433	△2,697
流動資産合計	1,346,255	1,394,532
固定資産		
有形固定資産	192,594	180,011
無形固定資産	19,173	14,928
投資その他の資産		
投資その他の資産	121,751	105,960
貸倒引当金	△8,698	△4,848
投資その他の資産合計	113,052	101,112
固定資産合計	324,820	296,052
資産合計	1,671,075	1,690,585
負債の部		
流動負債		
買掛金	141,728	171,686
1年内返済予定の長期借入金	274,357	282,248
未払法人税等	3,791	5,350
賞与引当金	98,002	87,926
その他の引当金	41	161
その他	93,340	73,371
流動負債合計	611,261	620,744
固定負債		
長期借入金	469,308	434,599
その他	3,287	1,898
固定負債合計	472,595	436,497
負債合計	1,083,857	1,057,242
純資産の部		
株主資本		
資本金	157,123	157,198
資本剰余金	137,123	137,198
利益剰余金	294,146	338,955
株主資本合計	588,392	633,351
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,174	△814
評価・換算差額等合計	△1,174	△814
新株予約権	—	805
純資産合計	587,218	633,342
負債純資産合計	1,671,075	1,690,585

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	1,831,745	1,670,753
売上原価	1,281,072	1,085,152
売上総利益	550,672	585,600
販売費及び一般管理費	575,382	568,930
営業利益又は営業損失(△)	△24,709	16,670
営業外収益		
受取利息	55	8
受取配当金	97	76
貸貸収入	660	—
助成金収入	250	26,706
雑収入	419	10,318
営業外収益合計	1,482	37,110
営業外費用		
支払利息	5,823	5,833
貸貸原価	272	—
雑損失	385	78
営業外費用合計	6,481	5,911
経常利益又は経常損失(△)	△29,708	47,868
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,727	—
特別利益合計	1,727	—
特別損失		
固定資産売却損	218	—
固定資産除却損	926	663
投資有価証券評価損	255	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,087	—
特別損失合計	6,487	663
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△34,469	47,205
法人税、住民税及び事業税	523	2,396
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	523	2,396
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△34,993	44,808

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△34,469	47,205
減価償却費	24,278	19,209
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,087	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,880	△2,586
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△11,852	△10,076
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△230	119
受取利息及び受取配当金	△152	△85
支払利息	5,823	5,833
固定資産売却損益 (△は益)	218	—
固定資産除却損	926	663
投資有価証券評価損益 (△は益)	255	—
売上債権の増減額 (△は増加)	195,568	△45,300
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△871	△11,832
仕入債務の増減額 (△は減少)	△153,410	29,957
未払金の増減額 (△は減少)	△19,675	△8,216
未払費用の増減額 (△は減少)	△2,751	△2,576
その他	39,642	△32,141
小計	46,506	△9,825
利息及び配当金の受取額	152	85
利息の支払額	△5,804	△5,758
法人税等の支払額	△523	△809
営業活動によるキャッシュ・フロー	40,330	△16,308
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,811	△2,810
有形固定資産の売却による収入	31	—
無形固定資産の取得による支出	△1,701	△224
投資有価証券の取得による支出	△667	△645
敷金及び保証金の差入による支出	△3,158	△2,184
敷金及び保証金の回収による収入	3,250	12,562
その他	404	△137
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,652	6,561
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	200,000	130,000
長期借入金の返済による支出	△167,637	△156,818
株式の発行による収入	360	150
配当金の支払額	△23	△522
その他	△1,332	△746
財務活動によるキャッシュ・フロー	31,367	△27,936
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	60,045	△37,683
現金及び現金同等物の期首残高	476,968	688,896
現金及び現金同等物の四半期末残高	537,014	651,213

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当社は、企業や団体の広告活動・販促活動に伴う、情報伝達を目的とした各種イベント及びマーケティングツールの企画・制作・運営を主たる業務として行っており、生産実績を定義することが困難であるため、生産実績の記載はしていません。

(2) 受注状況

当第2四半期累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
コミュニケーションデザイン事業	1,945,135	102.7	958,245	118.4
合計	1,945,135	102.7	958,245	118.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	前年同四半期比(%)
コミュニケーションデザイン事業(千円)	1,670,753	91.2
合計(千円)	1,670,753	91.2

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。